



UR Report

# 第3回都市再生フォーラム

# 街中 「まちなか」ネットワーク

## 中心市街地の再活性化

開催日時：2006年3月1日(木)  
会場：津田ホール

主催：独立行政法人都市再生機構  
後援：国土交通省  
協賛：財団法人都市再生共済会

人材づくりを進めています。それから今日は「まちなか」がテーマですが、飯田市の場合、農山村に支えられた「八ッ場」として中心市街地が形成されているのが特徴です。また、りんご並木と人形劇のまちとして広く知られています。

現在の大きな課題は人口減です。地域に大学がないために高校の卒業生がまちを出ていき、そのまま帰ってこないことも要因です。そうした意味で若い人を呼び込める地域をつくる必要があるとあります。地方が中央に人材の供給を求めているだけではだめで、その人材を還流させるための仕組みを作っていくことが大きな課題です。これまでのような一極集中の考え方から地方分権的な考え方に変わり、地域間競争が激化しているいまの時代においては、地域政策の立案主体は私たち市町村が担っていかねばなりません。

「まちなか」と呼ばれる都市の中心市街地は、かつて、住む、働く、学ぶ、買う、楽しむといった、市民の生活の中心となる場所であり、賑わいの溢れる「まちの顔」でもありました。しかし近年、時代の流れとともに、その機能が次第に周辺や郊外に移ることとなり、いま「まちなか」は魅力と活力を失いつつあります。一方で、「まちなか」にはその都市らしい個性や、独特の地域文化の結晶といえる資産がいまも数多く残っています。人々が集まる賑やかなまち、人の顔が見える安全で安心なまち、車ではなく歩いて楽しいまちへ、そして次代に確実に引き継ぐことのできるまちへ、「まちなか」の再生をみんなで考えるフォーラムを開催しました。

飯田のまちなか再生に向けた取り組みは、市民、行政、TMO、これらが緊密に協働し、「地域ぐるみ」、「まちぐるみ」で行って



日本最大の規模 いいい人形劇フェスタ



まちなみに歴史がしみ出る 三連蔵さんれんぐら



中学生が植えて半世紀 育つたりんご並木 後方が橋南第一地区

**牧野光朗** まきのみつお  
長野県飯田市長  
日本開発銀行(現日本政策投資銀行)入行後、フランクフルト事務所長、大分事務所長等を務め、国内外のまちづくり事情に精通。平成16年に生まれ故郷の長野県飯田市長に就任した。

飯田市は、長野県の南信州地域にある人口10万8千人の都市です。西の中央アルプス、東の南アルプスに囲まれて

### 第一部・基調講演 地域の自立化と『まちなか』再生にむけて

谷間ではありますがV字谷ではなく、日本では最も広い谷、伊那谷の中核的な都市です。私は、市長になる際に、それまで市が取り組んできたまちづくりの都市像「環境文化都市」に加え、公約として文化と経済の両立を目指す「文化経済自立都市」を掲げました。まちづくりの要は人材といわれていますが、飯田は昔から公民館活動が盛んで、「地育力」をキーワードに



会場となった津田ホール (渋谷区千駄ヶ谷)



会場内の様子